

「花」の本

福岡県立図書館
青少年コーナー

三月のおすすめ

全て貸出できます。
貸出されていたり
予約も受け付けてい
ます！



三月に入り、受験シーズンも終盤戦です。受験生の方は今月の終わりに、努力の成果が出ているといいですね。受験に合格することを「サクラサク」と言いますが、今月の特集はそれにちなんで「花」にします。

日本の春を代表する花と言えば、「桜」ですよ。みなさん、お花見に出かける予定はありますか？ 最初に紹介するのは、小さく美しい桜に魅せられた少年のお話です。



「僕と桜と五つの春」
『花が咲くころいた君と』収録

豊島 ミホ / 著

双葉社 E/T75/10

吉谷は成績が悪く、また友達もいなかった。その桜と出会ったのは、小学校五年の塾の帰りだった。ある日、憂鬱な気分が癒へ行く途中、不自然な高さの板塀があるのに気が付いた。トタンのパッチワークで作られた板塀をこえた先にあったのは、背丈の低い細い桜だった。瓦礫の中でつんとすましたように立っている美しい桜に見とれた吉谷は、塾帰りに板塀の空き地によるのが習慣になった。うまくいかない勉強に対してどこか投げやりな気分だった吉谷だが、その日から塾のプリントを真面目にやるようになっていった。

五度目の桜が咲いた頃、彼は一つの出会いをする。冷淡さと強さを感じていた、あの桜と同じ気配をもつ少女と出会った。始業式から三日目、彼は告白しようと思った。あの桜を見てほしいと思ったのだった。

次に紹介する話は、吉谷が見つけた桜と違い、大きく力強い桜です。その桜は人間界を守る結界を作っているのです。



『さくら、ひかる』

小森 香折/著

BL出版 F/3142/1

季世（きせ）は創立百年をこえる古い私立校に通う引っ込み思案な中学生。ある日、教室に、赤と黒のまだら蜘蛛が現れ騒ぎになる。クラスメイトの善行が踏みつけようとした時、季世は、とっさに声をあげた。普段はおとなしい季世だが、子どものころから「蜘蛛を殺すとたたられる」とか「桜を切るとひとが死ぬ」言われていたため、つい反応してしまったのだった。その時、蜘蛛を助けたのは、クラスメイトの寿和だった。授業が終わった後、たまたま中庭で寿和にあった季世は何気なく声を上げてしまった理由を話すと、寿和も母親からそのことを聞かされて育ったことが分かった。

蜘蛛が現れた日から、季世は不思議な夢を見るようになる。夢の中でけむくじやらかな化け物に追いかけられるのだが、黒装束の忍者のような男に助けられた。彼の名前は土蜘蛛の幻蔵。彼の話では世界には四本の守護桜が方陣を作っており、悪しきものが入らない守りになっているという。さらに、季世のことを方陣を守る桜巫女の一族だというのが…。

桜が美しいのは枯れる前にパッと散ってしまうからでしょうか。次に紹介するお話の主人公は桜の散る様子を見て、こんなことを言いました。



『小説・秒速5センチメートル』

新海 誠/著

メディアファクトリー

F/3198/1

映画『秒速5センチメートル』の監督によるノベライズ版。「ねえ、秒速5センチなんだって」

桜の花びらが落ちるスピード。それが秒速5センチメートルだった。

小学生の貴樹と明里は同じ学校に通う東京の小学校6年生。父親の転勤が多く似た者同士だった二人は、本やテレビから得た自分たちにとって大切だと思う知識の交換をするのが習慣だった。やがて同じ中学校を受験することにした二人の仲は少しずつ近づいていった。

ある日、明里が親の転勤で北関東に引っ越すことになり、同じ中学校に通うことはできなくなる。引っ越し後は、月に一度くらいのペースで手紙のやり取りをするようになった。中学一年の三学期、今度は貴樹の転校が決まる。場所は九州の鹿児島。もう会うこともできなくなる。貴樹は引っ越す前に明里に会いに行くことにした。約束の日、電車を乗り継ぎながら明里の元へ向かう貴樹だったが、雪の影響で電車の遅れがひどくなってきて…。

花にまつわる思い出をみなさんはお持ちですか？ 次に紹介する話は二人の男が車で旅をする話です。タイトルにある花が重要な力ギを握っています。



「花」(『対話篇』収録)

金城 一紀／著
講談社 F/カ132/3

主人公の「僕」は、ある日、突然倒れる。脳の中にできた米粒くらいの大きさの動脈瘤が原因だった。医者には危険ではあるが手術をすすめられた。しかし、手術が成功しても後遺症が残るかもしれないのだという。記憶機能の障害で、以前あった出来事の記憶が思い出せなくなるというものだ。

手術の決断ができないまま、「僕」は心身のバランスを崩し会社を辞めてしまう。寝て過ごすだけの日々を五ヶ月間送っていた「僕」の元に一つのアルバイトが舞い込んできた。依頼人は老いた弁護士。依頼内容は東京から車を運転し、鹿児島まで依頼人を連れていくこと。ただし、高速道路は使わず、国道一号線(東京→大阪)、国道二号線(大阪→北九州)、国道三号線(北九州→鹿児島)を使うことが条件だった。

老いた弁護士には、その旅の中で取り戻したい過去があるようだった。記憶をなくすかもしれない男と、思い出したい記憶のある男。二人の旅が始まった。

花が咲いたあと残るもの、それは種です。次に紹介する本は、様々な種の生き残るための工夫を紹介しています。



『身近な植物に発見! 種子たちの知恵』

多田 多恵子／著
NHK出版 471/1/34

美しい花々の見た目や香りなどに私たちは惹かれます。しかし、花の本当の使命は咲いたあとにあります。それは、種を作り、命を次の世代につなげていくことです。

植物は動物のように自由に移動することができません。しかし、種というカプセルを作ることによって時間や場所を移動していくことが出来るのです。

プロペラの形をしたユリノキの種、ヘリコプターの形をしたボダイジュの種などはうまく落下速度を落とすことで移動距離を延ばしています。また、動物に食べてもらい移動をするナンテンの種など、移動方法も多種多様です。

様々な種を見てみると、それぞれが持つ驚くべき工夫が見えてきて興味深いです。

最後に紹介するのは、ちょっと不思議なことが起こる図書館のお話です。タイトルは『れんげ野原のまんなかで』ですが、実際はススキがおいしげっています。れんげ野原に必要なものは花の種?



『れんげ野原のまんなかで』
森谷 明子／著
東京創元社 T/FE91/1

物語の舞台である秋庭市立秋葉図書館は、ススキがおいしげる斜面にあった。財政難の折、地元の有力者である秋葉氏から寄贈を受けた土地に図書館を立てたことから、そのような人気のないところに来れたのだ。

新米司書の文子、その先輩の能勢と日野は立地条件の影響から利用者の少ない図書館で働いている。

立冬の近い土曜日のある日、閉館前の巡回中に文子は妙な気配に気がついた。気配の正体は、館内に隠れていた小学生の集団で、彼らは文子に見つかると外へ逃げ出してしまった。うまく隠れて閉館後の図書館に残るつもりだったようだ。その日を境に毎日のように図書館に居残ろうとし始めた小学生集団。彼らは検索用端末の陰に隠れたり、閲覧室のソファの下にもぐりこんだり、文子たちのかくれんぼが続く。彼らが図書館に残ろうとする目的は何なのか…。

文子が出会った図書館でおこる日常の謎を先輩司書の能勢が探偵役になって解いていく連作短編ミステリー。

以上六冊を「花」というテーマで紹介しました。これ以外にも「花」の本をたくさん揃えています。ぜひ、御利用ください。また、同時に「祝い」の本も集めています。「青少年と暮らしの交流室」(青少年コーナー)でお待ちしています。

「花」の本

展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料ID	書名	巻号	著者名	出版者	出版年	請求 記号
1	1106771320	花が咲く頃いた君と (「僕と桜と五つの 春」)		豊島/ミホ 著	双葉社	2008. 3	F ト75 10
2	1106427079	さくら、ひかる。		小森/香折 作	BL出版	2006. 3	F コ142 1
3	1106544356	小説・秒速5センチ メートル		新海/誠 著	メディア ファクト リー	2007. 11	F シ198 1
4	1105693285	対話篇 (「花」)		金城/一紀 著	講談社	2003. 1	F カ132 3
5	1107460105	種子(タネ)たちの知恵		多田/多恵子 著	日本放送出 版協会	2008. 5	471 1 34
6	1106411226	れんげ野原のまんなか で		森谷/明子 著	東京創元社	2005. 2	F チ91 1
7	1106779719	「花フェアリー」 占い		ピボワンス・ オリュウ 著	マガジンハ ウス	2008. 3	148 9 21
8	1107474066	タンポポな生き方		猪口/孝 著	西村書店	2009. 10	159 1412
9	1106465446	野の花の旅		菱山/忠三郎 著	山と溪谷社	2007. 6	291 09 535
10	1106882251	野菜と花タネのひみつ		鳥飼/規世 漫 画	学研コミュ ニケーショ ンビジネス 事業室	2009. 3	626 12 9
11	1106100684	美しい花のペインティ ング			日本ヴォー グ社	2005. 6	724 4 29
12	1106992583	永沢まことの花スケッ チレッスン		永沢/まこと 著	小学館	2008. 3	725 54
13	1107059295	花ときどき風		永田/萌 著	東京書籍	2008. 9	726 5 339
14	1106734625	飾れる!贈れる!かわい い花の折り紙		山口/真 著	PHP研究所	2006. 10	754 9 98

「花」の本
展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料ID	書名	巻号	著者名	出版者	出版年	請求 記号
15	1106777323	歌舞伎のかわいい衣裳 図鑑		君野/倫子 著	小学館	2008. 4	774 67 4
16	1105523387	ひな菊とペパーミント		野中/柊 著	講談社	2005. 6	913 /カ S
17	1106449531	花		饗庭/孝男 著	幻戯書房	2007. 3	914 6 6492
18	1106559257	秘密の花園		バーネット 著	光文社	2007. 5	F B2 11
19	1107003614	なもなきはなやま		岩槻/優佑 著	朝日新聞出 版	2008. 9	F /298 1
20	1107462806	園芸少年		魚住/直子 著	講談社	2009. 8	F /57 4
21	1106042437	てるてるあした		加納/朋子 著	幻冬舎	2005. 5	F /84 12
22	1104724483	花の下にて春死なむ		北森/鴻 著	講談社	1998. 11	F /キ71 3
23	1106982137	十七歳		小林/紀晴 著	日本放送出 版協会	2008. 6	F /152 2
24	1106754767	QED～flumen～九段坂 の春		高田/崇史 著	講談社	2007. 8	F /185 13
25	1105845620	檸檬のころ		豊島/ミホ 著	幻冬舎	2005. 3	F /75 4